

## ★★相馬会長テーマ「楽しく、親しく、心を一つに」★★

### ご存知でしたか？

母子の健康改善の分野で知られる米国の慈善団体「March of Dimes」は、当初「National Foundation for Infantile Paralysis」（幼児まひのための国家基金）として、ポリオサバイバーであったフランクリン D. ルーズベルト米大統領によって創設されました。創設は1938年1月3日のことで、一部資金はポリオワクチンの研究に充てられていました。

1950年代初頭、ジョナス・ソーグ博士は March of Dimes からの資金を使い、「安全、効果的、かつ強力」\*なワクチンを開発。続く1954年、米国の生徒180万人（通称「ポリオパイオニア」）を対象とする大規模なワクチン試験が行われました。ワクチンは1955年に通常利用できるようになり、以来、ポリオの発症件数は99.9%減少しています。（\*引用元：Dr. Thomas Francis Jr., director of the Poliomyelitis Vaccine Evaluation Center at the University of Michigan School of Public Health）

ポリオワクチンの開発という主要目標が果たされたため、March of Dimes の主眼はやがて、先天性欠陥症、未熟兒出産、幼児死亡の予防による赤ん坊の健康改善へと移っていきました。

March of Dimes は、ポリオ撲滅活動の先駆者ともいえる存在です。同団体は、2018年に創設80周年を迎えます。

### 《ポリオ撲滅のためのクラブのユニークな取り組み》

第7570地区（米国）では、ガバナー補佐が中心となり、ポリオ撲滅活動の資金を集めるためのユニークな取り組みが行われました。その内容は、各ガバナー補佐が担当するエリアで、地ビール会社と協力してイベントを開催し、参加者に支援をお願いするというもの。これにより、42,000ドルを集めることができました。

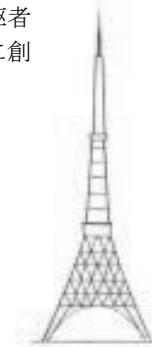
### 《「ポリオ」という病気》

ポリオ（急性灰白髄炎）は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。

ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあります。これによって身体のまひを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。

### ★義援金箱報告★

1月 30日 0円 累計 27,524円



東京みなとロータリークラブ  
TOKYO MINATO ROTARY CLUB

事務局：〒108-0014 東京都港区芝4-12-4 名倉堂ビル  
Office: Nagurado Bldg. 4-12-4 Shiba Minato-ku Tokyo 108-0014  
Tel: 03-5232-3514 Fax: 03-5232-3515



# ROTARY CLUB of TOKYO-MINATO

平成30年2月6日（第1420回）

2017-2018年度

VOL. 31 No. 25 通算1337号



[聖坂] この坂は三田3丁目から三田臺町済海寺の方へ上る坂、かつては長さ百間幅二間五尺ほどの細長い坂であったが、今は大きな道になった。

“ロータリー：変化をもたらす”  
ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

RI会長 イアン・ライズリー

### 東京みなとロータリークラブ

会長	相馬 耕三	幹事	相原 雅樹
副会長	山口 靖之		
例会日	毎週火曜日12時30分	Meeting Every TUESDAY 12:30	
例会場	東京プリンスホテル	Tokyo PRINCE Hotel	
創立	昭和62年6月23日	Established 23rd Jun 1987	

## ☆本日の例会

ロータリーソング 目も風も星も・みなと  
卓 話 「オリンピック・パラリンピックと  
その後の東京」  
卓話者 中央区 副区長 吉田不憂様  
(紹介者 小澤君)  
本日の会合  
・定例理事会 例会後  
3階「ゴールデンカップ」  
・第5班炉辺会合 18:00 元麻布「Cast 78」

## ♪みなと♪

一、 空も港も夜は晴れて  
月に数ます 船の影  
はしけのかよい にぎやかに  
寄せ来る波も こがねなり

## ◎2月会員誕生日おめでとう。(2名)

11日 吉田 茂君 16日 桧山 幹夫君

## 第1419回例会(平成30年1月30日レポート)

点鐘 : 相馬 耕三会長  
ロータリーソング : 奉仕の理想・雪  
ソングリーダー : 竹内正浩君  
ビジターとゲスト 3名  
出席報告 出席数35名 出席率83.33%  
会員数43名 計算出席数42名  
出席規定免除者1名(出席0名)  
前々回修正出席率 80.95%

## 会長報告

※このたびベネフォクターになられた林会員に認証状とピンが届きましたのでお渡しいたします。ロータリー財団へのご協力を有難うございました。  
※昨年に引き続きポリオ撲滅支援企業になって下さった相馬会員に感謝状とバッチ・ボスターが届きました。山口副会長より相馬会長にお渡しいたします。  
※11月の熊本復興支援の旅に関連して、熊本城復興城主にクラブとして14口14万円を寄付いたしました。大西熊本市長より「城主証」が届きましたのでご披露します。

## 幹事報告

※公益財団法人ロータリー財団と公益財団法人ロータリー米山奨学会(2016-17下半期・2017-18上半期)より確定申告用領収証が届きましたので1月29日付郵送致しました。ご確認下さい。  
尚、米山特別寄付をされた方は領収証2通です。  
※桧山米山奨学委員長より地区米山奨学セミナー(1/25)報告。  
※ロータリーレートが2/1より1ドル110円(現行114円)に変更となります。

## ニコニコBOX

洗 副SAA  
相馬→本日の岡松先生の卓話を楽しみにしております。  
弦本→今日15:00からNHK「ごごナマ」で紹介されます。  
福原→早退します。ごめんなさい。  
水澤→先週の夜間例会はあの雪と寒さで欠席しました。今晚の第1班の炉辺会合には出席します。  
山口→3月16日、春めいた府中CCで洗さんにお世話になります。がんばります!  
吉田茂→岡松暁子先生をお迎えして。お話が楽しみです。  
吉田眞→明後日はまた雪になりそうですね。皆様、ご自愛ください。  
洗 →鈴木さん、桧山さん、先週はお世話になりました。アンコウ鍋おいしかったです。  
累計 595,282円

## 卓話

法政大学 人間環境学部  
教授 岡松 暁子様  
「国際平和と国際法:  
最近の事例を  
素材として」



## 2月のロータリー 平和と紛争予防/紛争解決月間

## 【ヒトに最も近い類人猿】

笠原 慶之  
皆さん「ボノボ」という類人猿をご存知ですか?

“戦いより愛を”セックスで争いを回避し、人間と会話する知能や相手を気遣う能力を持つ特殊な類人猿です。姿勢はチンパンジーにとても良く似ていますが、手と足が長いので二足歩行をすると人間の歩行を思わせます。

ボノボが他の類人猿と大きく違うのは、支配的ボスを持たない事でしょう。通常、短いメスの発情期の交尾権を独占的に獲得する為、熾烈なボス争いをし、支配的なボスが存在しますが、擬似発情期も持つボノボは発情期が長く、その必要が無い為です。

生き物が最も危険なのは交尾中と言われています。蝉や鳥は本当に短くアッと言う間に終わってしまいます。命がけって感じます。

その点ボノボのセックスはおおらかで、メスは時に快感の甘い声を上げることもあります。マスターべーションを楽しんだり、お腹や腋の下を突っ突きあっては大きな声を立てたり、人間同様にセックスを楽しむので、彼らがサルだとは思えなくなるほどです。

ボノボの生態系の最大の特徴は、メスを中心として、冒頭に記載しましたが、争い事をセックス(オス同士メス同士も有)で回避し、仲間は勿論の事他の群れのボノボとも争うことはない平和主義で、一年中自分の意思で自由にセックスを行い、メスオス対等の社会を築いていることです。

他の類人猿とは全く違った生き方をし、これ程人間に近いと言うか、ある意味人間以上に平和な社会性を持った生き物が、この地球上にいたとは驚きです。

(2014年10月26日号週報掲載原稿 Part2)

## ロータリー財団寄付

年次基金は、ロータリー財団の活動を支える最も重要な資金源です。ロータリー財団の年次基金の特徴は、寄付金を3年後の活動に利用することです。これにより、ロータリアンは、寄付額が確定した後で、予算とプロジェクトの計画に時間をかけることができます。一方、財団はその間寄付金を投資し、収益により管理運営費と寄付増進費を捻出しています。

## 《携帯電話がポリオ撲滅活動を変える》

携帯電話で簡単にできるテキストメッセージは、ポリオ撲滅活動を成功させるカギとなるかもしれません。かつて世界中に広がっていたポリオの発症は、現在3カ国的一部地域に限られています。今後は、保健従事者が迅速にワクチンを提供し、情報を共有していくことが重要となります。

パキスタンでは、予防接種データを含む母子健康報告書を、従来の紙から携帯電話と電子モニタリングに移行できるよう、地元のロータリー会員が尽力しています。今までに、パキスタンの保健従事者に携帯電話800台以上が支給されており、2018年までに合計5,000台を支給する予定です。

保健従事者はテキストメッセージを中央サーバーに送信でき、ポリオ発症の疑いがある場合は、即座にパキスタン国立緊急センターに連絡できます。また、予防接種を受けていない子ども、拒否する保護者の有無、予防接種の実施範囲も報告します。携帯電話の支給により、リアルタイムで情報を入手し、簡単にモニタリングできます。

## 《ポリオ撲滅自転車レースの報告》

ポリオ撲滅活動への認識を高め、支援を募るために、11月18日、ジョン・ヒューコ RI事務総長、ロータリー職員、アリゾナ州のロータリアン、その他多くのロータリアンが、米国に数の自転車レース「El Tour de Tucson」に参加しました。その結果、390万ドルの寄付が集まり、ゲイツ財團からの2倍額の上乗せも加わって合計1175万ドルを集めることができました。これらの資金は、今後のポリオ撲滅活動に活用されます。

(ポリオ撲滅ニュースレターより)

## ◎お知らせ

当クラブの2017-18年度地区補助金プロジェクトがロータリー財団委員会ベースに掲示されていますので、2月27日(火)地区大会会場内の「友愛の広場」にお立ち寄りください。